

「超短波放送（FM放送）における同一周波数放送波中継による
同期放送に関する調査検討」

開催趣旨

超短波放送（以下、FM放送という。）における同一周波数放送波中継による同期放送は、放送波中継で受信する周波数と放送用中継局（以下、自局という。）で送信する周波数が同一であることから、自局の受信設備でそれぞれの放送波を判別が難しいなどから実用化がされていません。

しかし、山口放送株式会社などが開発した「FM回り込みキャンセラー機能を内蔵したFM放送波中継装置（以下、「FM回り込みキャンセラー装置」という。）」を活用すれば、中継回線設備を構築する必要がなく同一周波数での放送波中継によるFM放送を可能にすることが見込まれています。

本システムが実用化されればFM周波数の解消や無線固定中継回線の削減など周波数の有効利用に資するものとなります。

本調査検討会では、国内初となる同一周波数放送波中継による同期放送の実用化に向けて、「FM回り込みキャンセラー装置」を活用した同一周波数放送波中継による同期放送に関する必要な技術的条件（周波数偏差、最大周波数偏移、遅延時間など）を検討することを目的として開催します。